

【既定】	杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進	予算額	129,031 千円
------	-----------------------	-----	------------

### 事業の目的・概要

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、太陽光発電システムや窓断熱等導入費用の助成、区民等の省エネルギー行動を促進する「すぎなみエコチャレンジ」等を実施するとともに、「太陽光発電舗装システム」を試験導入するなど、温室効果ガスの排出量削減を図ります。また、交流自治体である青梅市と連携したカーボンオフセット事業の実施や、体験型森林環境学習の実施に向けた検討を行います。

さらに、無作為抽出により選ばれた区民等による地球温暖化・気候変動対策についての議論の結果を区政運営に生かす「(仮称) 気候区民会議」の開催に向けた検討等を行います。

### 主な取組内容

#### ➤ 再生可能エネルギー等の導入や断熱改修等省エネルギー対策等の助成

太陽光発電システムや省エネルギー機器の導入及びLED照明機器への切替等の費用の一部を助成し、再生可能エネルギー利用の拡充や省エネルギー対策の推進を図ります。また、太陽光発電システムや蓄電池等については、災害時の非常用電源としての活用等についてあわせて周知し普及促進を図ることで、区内の家庭や事業所における温室効果ガス排出量の削減につなげます。



内窓の設置



太陽光発電システム



エネファーム

#### ➤ すぎなみエコチャレンジ

家庭や事業所における電気及びガスの使用量について、前年度と比較して基準以上の削減を行った場合に区内共通商品券を支給し、区民等の省エネルギー行動を促進するとともに、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

➤ **自治体連携によるカーボンオフセット事業及び体験型森林環境学習**

交流自治体である青梅市との連携のもと、青梅市所有の森林を「森林環境譲与税」を活用して整備することを通じて、二酸化炭素の排出量と削減・吸収量を相殺する「カーボンオフセット事業」を実施します。また、整備した森林等を活用した「体験型森林環境学習」の実施に向けた検討を行います。



森林間伐の様子

➤ **太陽光発電舗装システムの試験導入** **新規**

既存の広場や駐車場・歩道等、限られた空間に設置できる「太陽光発電舗装システム」を試験導入します。このシステムにより発電した電力は、区立施設での活用のほか、バッテリーに蓄電することもできるため、災害時に非常用電源として使用できるなど様々な活用が期待できます。

試験導入の結果を検証し、今後の展望につなげていきます。



駐車場（EV 充電）（フランスの事例）



電動自転車（充電）（フランスの事例）

➤ **（仮称）気候区民会議** **新規**

無作為抽出により選ばれた区民等が地球温暖化の現状や気候変動対策について学習と議論を行い、その結果を区政運営に生かす仕組みである「（仮称）気候区民会議」の設置・開催に向け調査・検討を行います。同会議の開催により、区民同士が議論を行うことを通して気候変動問題を自分事として捉え、多くの区民の行動変容へつながるよう、他自治体の先行事例や専門家の意見などを踏まえながら検討を進めていきます。